

経歴

ニールズ・グッチョウ

1941	ドイツ、ハンブルクに生まれる
1962,63	日本にて大工の見習い(犬山城、高野山金剛峯寺不動堂の再建に参加)
1970	ドイツ、ダルムシュタット工科大学(建築学)卒業
1971	ネパール、バクタプールにおける最初のドイツ・ネパール2国間保存プロジェクトメンバー
1973	ダルムシュタット工科大学博士号(建築学)(日本の城下町についての論文で博士号取得)
1978-80	ミュンスター記念物保存局長
1980-96	ネパール(ゴルカ、ヌワコット、バクタプール、ムスタン、ムグ)にて広範な現地調査を実施(ドイツ研究振興協会助成プロジェクト)
1980-2000	ドイツ国家保存委員会メンバー
1987-90	ネパール、ダルバール広場の八角パビリオン(Cyasilin Mandap)の復元
1989	スワヤンブナート寺院保存マスタープラン作成
1991	パタン保存・開発プロジェクトメンバー
1993	イコモスメンバーとしてカトマンズの世界遺産現地調査に参加
1995	イコモスメンバーとしてパキスタンの世界遺産現地調査に参加
1996-99	ドイツ・日本保存専門家委員会メンバー
2001,03	モンゴル、エルデネ・ゾー寺院現地調査
2004-	ハイデルベルク大学名誉教授(東南アジア研究所インド部門)
2007-	ハイデルベルク大学先端研究拠点「グローバルな文脈におけるアジアとヨーロッパ」教授 カトマンズ盆地保存トラスト(ニューヨーク)パタン王宮保存シニア・アドバイザー
2009	ドイツ建築家技術者協会より文化賞
2010	ドイツ建材産業協会南部煉瓦センターより「煉瓦-ネパール・バクタプールの塔」に対して特別賞

主な著作

- 『カトマンズ盆地におけるネワール民族共同体の都市空間と儀式—建築人類学調査』(ドイツ語), シュトゥットガルト(ドイツ), コールハマー出版社, 1982.
- 『カトマンズ盆地の遺産—1985年6月リュウベック国際会議集録』(共編、寄稿), ザンクト・アウグスティン(ドイツ), ヴィッセンシャフト出版社, 1987.
- 『ネワール民族の町と建物—ネワール語・英語図解辞典』(共著), ザンクト・アウグスティン, ヴィッセンシャフト出版社, 1987.
- 『HOZON—日本における建造物・都市保存』(共著、共編)(ドイツ語、日本語、英語3カ国語並記版), シュトゥットガルト, アクセル・メンゲス社, 1998.
- 『ネパールのチャイティヤーカトマンズ盆地における仏教奉納建造物の1500年』シュトゥットガルト, アクセル・メンゲス社, 1997.
- 『ヒマラヤ山脈の聖なる景観』(共編)(ドイツ語), ウィーン, オーストリア科学アカデミー, 2003.
- 『スリマ仏塔—ネパール寺院の修復における東西の出会い』(共編), トランブル(コネチカット), ウェザーヒル社, 2002.
- 『葬制—バクタプールにおけるネワール民族の葬送と先祖儀礼のダイナミズム』(共著), ヴィースバーデン(ドイツ), ハラソヴィッツ出版社, 2006.
- 『ベナーレス—ワラーナシーの聖なる景観』シュトゥットガルト, アクセル・メンゲス社, 2006.
- 『成長—バクタプールのネワール民族ヒンドゥー教・仏教の子どもたちに見る通過儀礼』(共著), ヴィースバーデン, ハラソヴィッツ出版社, 2008.
- 『ネワール民族の建築様式—ネパールにおける建築類型と細目の歴史』(全3巻), シカゴ, セリンディア出版社, 2011(出版予定).

※言語記載のないものは英語